

クリーンテック戦略関連ニュースレター

脱炭素化へ政策支援加速

日本を含む主要国、カーボンニュートラル達成目標掲げる

クリーンテクノロジー分野の成長機会を捉えた優れた企業に注目しているクリーンテック戦略では、クリーンテック関連市場は成長の転換点を迎え、急速な需要の拡大が始まっているとみています。そして主要な成長促進要因の一つとして、世界の主要地域における政策面の支援に注目しています。

世界で温室効果ガスのネットゼロ（排出実質ゼロ）を目指す「カーボンニュートラル」達成を目標に掲げる

地域が相次いでおり、各種の政策が打ち出され、多くの財政資金が投じられつつあります。

主要国の動き

先頭を行く欧州は、コロナ後の「グリーンリカバリー（環境に配慮した復興）」へのコミットメントを表明し、実現を支援するための政策を打ち出しています。米国ではバイデン新大統領が環境政策を加速させており、また就任早々、地球温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定にも復帰しました。中国も2060年までに排出量実質ゼロ（ネットゼロ）達成を目指すと発表し、同国の5カ年計画に盛り込みました。



再生可能エネルギーを含むクリーンテック関連市場は成長の転換点を迎えており、急速な需要の拡大が始まったとみられます。

日本、野心的な再生可能エネルギー導入目標を掲げる

日本では菅義偉首相が10月下旬、2050年ネットゼロ宣言を発表しました。エネルギー効率の抜本的な向上（省エネ）と電力分野での再生可能エネルギーの大規模な導入を狙い、脱炭素社会の実現を目指す



世界中でカーボンニュートラル達成目標を掲げる地域が増えており、日本も2050年ネットゼロ宣言を発表し、各種の政策を打ち出した。

強調しました。また、石炭火力発電に関する政策の抜本的転換も打ち出しました。

クリーンテック株式戦略のポートフォリオ・マネージャーのアマンダ・オトゥールは、「日本も野心的な再生可能エネルギー目標を掲げ、エネルギー保全や温室効果ガス排出などが含まれます。日本でもガソリン車への規制が強化される見込みで、EV（電気自動車）への追い風となりそうです」と述べています。

2050年ネットゼロ宣言の下、脱炭素戦略を主導する経済産業省は民間投資の呼び水となる基金や規制緩和の

導入を準備しています。洋上風力発電の大規模な導入が計画されており、また、脱炭素燃料である水素・アンモニアの熱や発電での大幅な利用にも取り組んでいます。EVの積極的導入についても、充電機などの技術面や充電インフラなどで自動車メーカーと協議を進めています。

以上の主要地域における政策面のサポートもあり、2020年はクリーンテック戦略の投資テーマの転換点になったと当社は考えており、「今後数十年にわたる成長機会の始まりとなった」とアマンダは強調しています。当社は、アクティブ運用のファンドマネージャーとして、クリーンテック分野の優れた企業の選定に注力しており、クリーンテック戦略のポートフォリオ保有銘柄に関する見通しは非常に明るいと考えております。

関連リンク

[アクサIMのクリーンテック戦略について](#)

ディスクレーマー

アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスお



および伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2020年12月末時点で約8,580億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、5,550億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサIMは20カ国27拠点において2,440名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-20017